

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットしようなん

BOSAI Never Ending Tension~終わりになき緊張感

向日葵はわが街のシンボル



2024(令和6)年5月1日/第85号

あなたとご家族の生命を守る知見を備えましょう

風早北部地域ふるさと協議会

災害時に大怪我をしない取組み

～シェイクアウト訓練・家具転倒防止など No.④

本号ではシェイクアウトの話題はお休みです

今回はかぐ転倒防止の中でも、壊れることで被災時の生活に大きな支障が生まれる3点を守る（転倒やスライドして壊れることを防ぐ）ための措置を案内します。掲載情報の出展元は東京都消防庁ホームページ資料です。

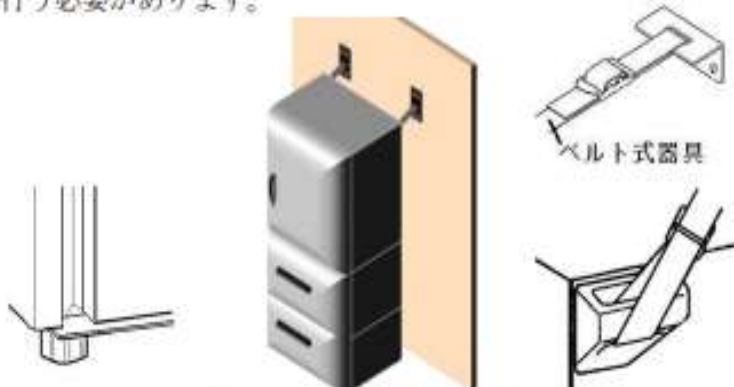
テレビは重要な情報源、冷蔵庫は重要な食糧庫、電子レンジは冷凍食品の解凍に欠かせません。是非、優先的に防止措置を講じておきましょう。

● 冷蔵庫の転倒・移動防止対策

Point

- 冷蔵庫の背面上部のベルト取付け部分と壁とをベルトで連結すると、効果が高くなります。
- 冷蔵庫は、転倒や移動したときに備え、避難の障害にならないように置き方を工夫しましょう。
- 冷蔵庫の固定脚を引き出してロックするとともに、必ず上部固定も併用しましょう。

冷蔵庫の底には移動用のキャスターが付いているため、地震の揺れで容易に大きく移動することがあります。脚の部分のロックを行うとともに、転倒防止対策を実施する必要があります。冷蔵庫の転倒・移動防止には、冷蔵庫の上部をベルトなどで背面の壁と連結することが有効ですが、壁側にネジ止めをする器具の場合は、壁の強度のある部分で行う必要があります。



キャスターは必ずロックしましょう。

冷蔵庫裏面の取手にベルトを通して、なるべく壁に寄せて固定する。

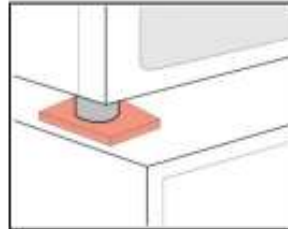
● 電子レンジの落下・移動防止対策

Point

- 電子レンジ本体をレンジ台または壁に固定するとともに、レンジ台を床または壁に固定しましょう。



ストラップ式を用いて電子レンジを固定した例



マット式を用いて電子レンジを固定した例

● テレビの転倒・落下・移動防止対策

Point

- **床、壁に固定されたテレビ台とテレビを直接固定する**のが最も確実な方法です。
- ストラップ式を使って連結・固定する場合は、テレビ本体の形状・重量に応じて本数を増やすことが重要です。(4本以上)
- マット式で固定する場合は重量、台座の形状のほかに、取付け面の凹凸にも注意しましょう(凹凸が大きいと粘着しない)。
- 壁等にヒートンを使用して固定する場合は壁の強度とテレビの重量に耐えるヒートンや紐の太さ、強度を確認しましょう。
- キャスター付きのテレビ台は、移動防止対策をしておくことが重要です。



薄型テレビ本体(または脚など)を、**直接ボルト等でテレビ台に固定**することができる商品は、取扱説明書の方法に従って取付けてください。



壁からヒートン及びロープ等で転倒防止をする場合は、ヒートンは壁の強度のある間柱等に取付けるとともに、テレビの重量に耐えるヒートン(リング式)及びロープを選びます。



テレビがテレビ台へのネジ固定に対応したものとなっていない場合は、ストラップ式やマット式等で固定します。

この場合、テレビの重量等に応じて、ストラップ式や粘着マットの数を増やします。



テレビは重心が高いため、テレビをテレビ台に固定したのみでは、テレビ台ごと転倒することがあります。テレビ台にも転倒防止対策を行うことが重要です。